

事業名：税申告作成補助事業

市民税課 市民税係

政策	07 計画実現に向けて								
施策	01 効率的な行財政運営の推進								
基本事業	02 行政サービスの向上								
開始年度	平成24年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
税申告受付期間の繁忙期に、業務の円滑化及び効率化を計るため、業務の一部を外部委託する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
税申告の受付補助員を確保することにより、スムーズに適正な申告の受付を可能とする。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	0	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	雇用者数	人	0	9	10	9
活動指標2						
成果指標1	処理受付数	件	0	6,467	5,705	8,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	4,095	4,746	4,956
正職員人件費(B)		千円	0	8,417	8,204	8,215
総事業費(A+B)		千円	0	12,512	12,950	13,171

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	確定申告及び市民税・道民税申告作成の補助	人件費 4,725千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
緊急雇用創出推進事業の終了のため	
事業を取り巻く環境変化	
平成21年度から平成23年度まで補助金制度を活用したが平成23年度に終了	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 市民税賦課業務に関わるものであるため妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 円滑な税申告の作成に貢献している。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 研修を行った委託職員を申告期間中継続して雇用することにより、税申告の作成が円滑に行われている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 雇用人数の増員により、税申告の作成がさらに円滑に行われる可能性がある。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由 根拠 コストはほぼ人件費であり、必要最小限である。